

# 【事例報告】新型コロナによる 非正規職女性への影響

横浜市男女共同参画センターの取組みから



2021年6月  
（公財）横浜市男女共同参画推進協会  
事業企画課 植野 ルナ

# 横浜市男女共同参画センター

≫ (公財) 横浜市男女共同参画推進協会



男女共同参画センター横浜  
(フォーラム) @戸塚区



男女共同参画センター  
横浜南@南区



男女共同参画センター横浜北  
@青葉区

財団設立: 1987年    フォーラム(男女共同参画センター横浜)開館: 1988年  
指定管理者として、市内3館の男女共同参画センターを管理運営  
来館者: 約78万人 / 講座・セミナー実施回数: 2,500回 / 講座参加者数: 7.3万人 (2019年度)

# ≫ 実施事業

## ■ 情報事業

男女共同参画社会の形成に役立つ情報の提供（情報ライブラリ）

## ■ 広報啓発事業

広報誌『フォーラム通信』発行、ホームページ・テーマ別サイト  
SNS発信、職員講師派遣（ハラスメント防止、男女共同参画の視点で考える防災）

## ■ 調査研究・事業開発事業

社会経済状況の変化を把握、多様な状況・ニーズに応じた事業開発

## ■ 相談事業

心とからだと生き方の電話相談、面接相談、グループ相談、  
横浜市DV相談支援センター（一部機能）、自助グループ支援  
性的な傷つきを体験した女性のセルフケアグループ

## ■ 講座事業

女性の就業支援（「女性としごと応援デスク」、女性の起業支援、  
若年無業女性・非正規職シングル女性支援、女性リーダー育成等）  
WLB支援、女性の健康支援、女性への暴力防止と被害者支援等

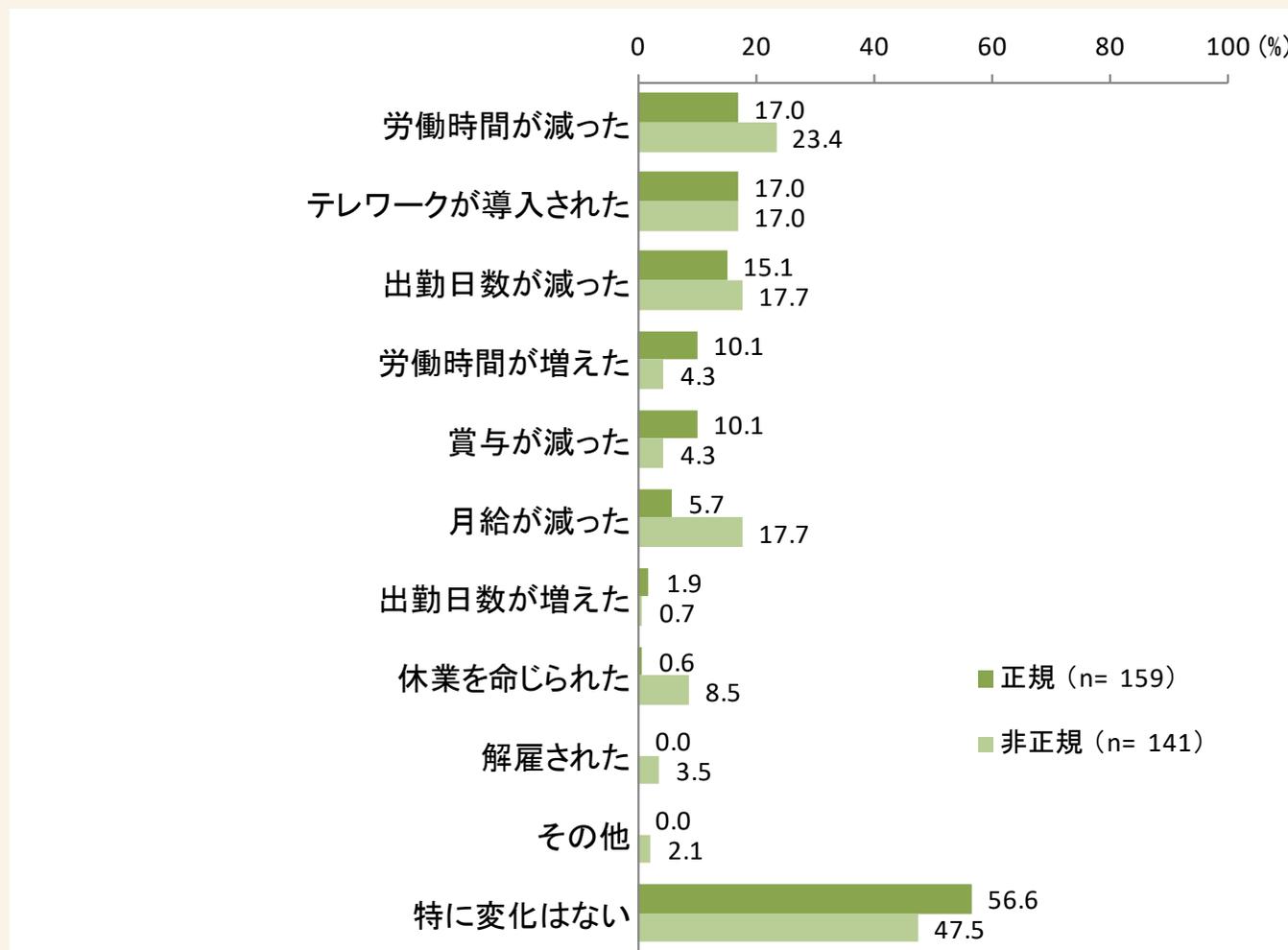
## ■ 協働連携事業

NPO・市民グループ、企業、学校等との協働事業、一時保育、親子のひろば運営



## ≫ 事例① 就職氷河期世代の非正規職シングル女性の調査

### ● 新型コロナウイルス感染症拡大の仕事への影響による働き方の変化



(出所) 横浜市『令和2年度 横浜市就職氷河期世代非正規職シングル女性の就労支援に向けた調査及び事業開発報告書』(2021年3月)

## ≫ 事例① 就職氷河期世代の非正規職シングル女性の調査

### ● 新型コロナウイルス感染症拡大の仕事への影響による働き方の変化 上位項目

	1位	2位	3位	4位	5位	(%)
正規 n=159	特に変化はない 56.6	労働時間の減少 17.0 テレワークの導入 17.0		出勤日数の減少 15.1	労働時間の増加 10.1 賞与の減少 10.1	
契約・嘱託 n=39	特に変化はない 41.0	テレワークの 導入 25.6	労働時間の減少 23.1	出勤日数の減少 20.5	月給の減少12.8	
派遣社員 n=37	特に変化はない 48.6	テレワークの 導入 29.7	出勤日の減少 18.9 月給の減少 18.9		労働時間の減少 16.2 休業の命令 16.2	
パート・アルバイト n=65	特に変化はない 50.8	労働時間の減少 27.7	月給の減少 20.0	出勤日の減少 15.4	休業の命令 7.7	

(出所) 横浜市『令和2年度 横浜市就職氷河期世代非正規職シングル女性の就労支援に向けた調査及び事業開発報告書』(2021年3月)

## ≫ 事例① 就職氷河期世代の非正規職シングル女性の調査

- 過去1年間に受診または治療しなかった健康課題が「ある」と答えた人が受診しなかった理由（複数回答）

	仕事が忙しくて時間が取れないから	家事や介護など仕事以外の理由で忙しくて時間が取れないから	職場が休みづらいうえに雰囲気だから	金銭的な余裕がないから	受診、治療に抵抗があるから	その他
正規 n=51	31.4	5.9	17.6	21.6	37.3	15.7
非正規 n=38	21.1	2.6	7.9	50.0	44.7	7.9

（出所）横浜市『令和2年度 横浜市就職氷河期世代非正規職シングル女性の就労支援に向けた調査及び事業開発報告書』（2021年3月）

## ≫ 事例② 《コロナ下》女性のしごとと暮らし電話相談

《コロナ下》  
通話料無料  
女性のしごとと暮らし  
電話相談  
よこはま  
相談無料  
秘密厳守  
ひとりで悩まないで、まずは相談を

働く女性・働きたい女性のための総合相談窓口「女性としごと応援デスク」で、コロナの影響を受けた相談（失業、減収、家計ひっ迫等）が増加



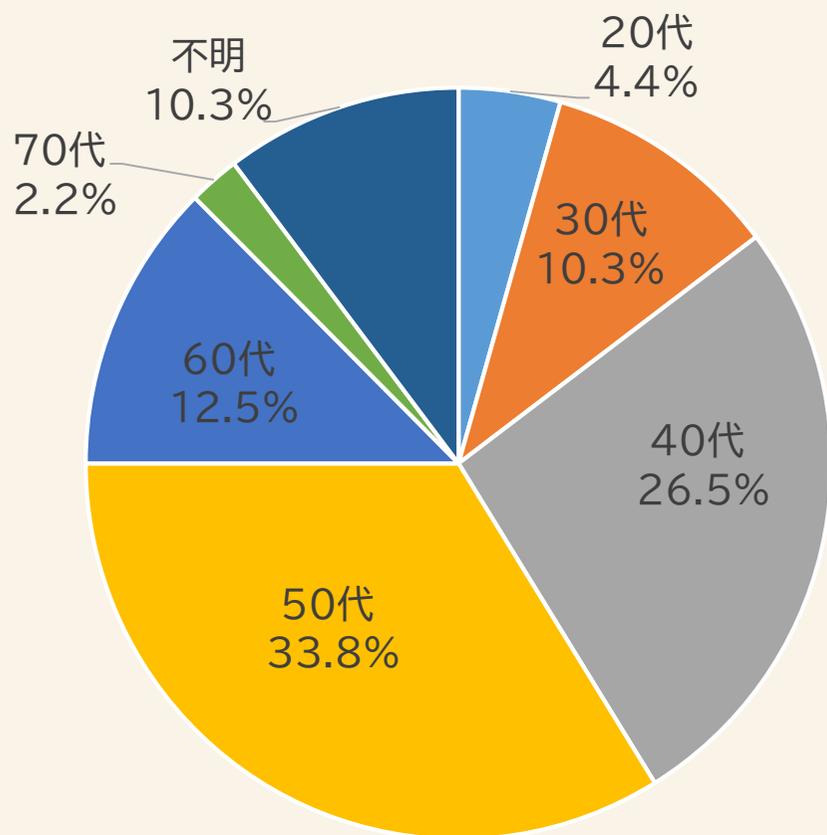
**通話料無料の女性電話相談を2021年1月よりスタート**

## ≫ 事例② 《コロナ下》女性のしごとと暮らし電話相談

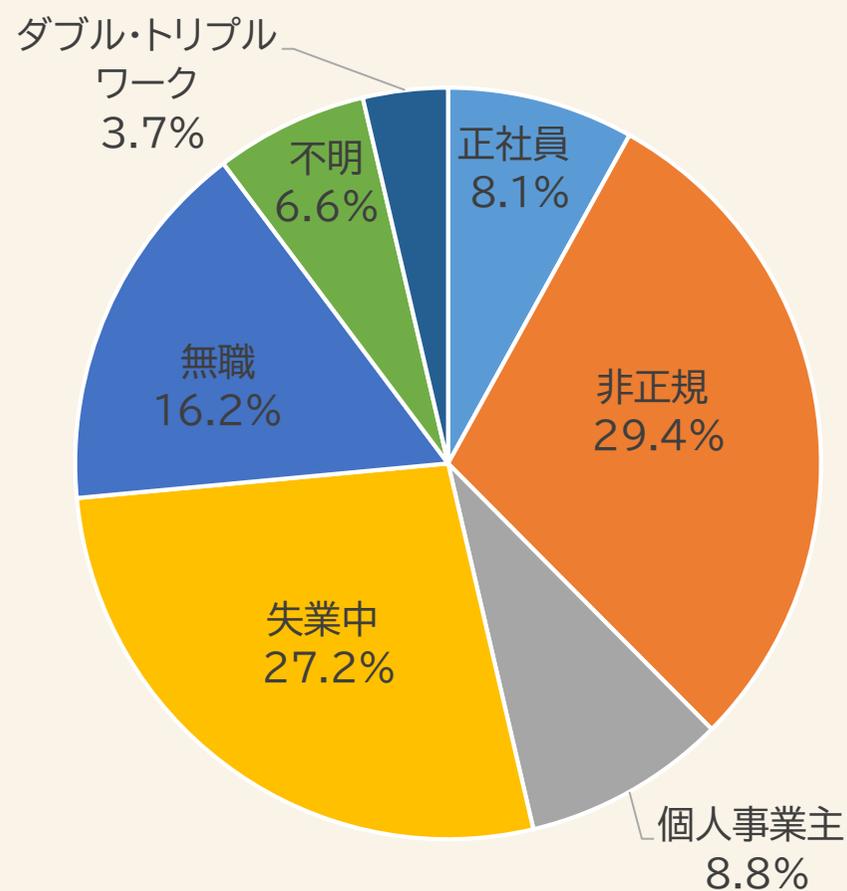
### 相談者の年代、就業状況（雇用形態）

2021年1月～5月（33日）  
相談件数：136件

【年代】



【就業状況】



## ≫ 事例② 《コロナ下》女性のしごとと暮らし電話相談

---

### 相談内容

- ・ 職場から休業手当は出さないといわれた。
- ・ シフトを減らされ、収入が減少。貯金を取り崩しているが、このままでは、生活ができない。
- ・ 家賃が払えない。ローンが払えない。
- ・ 持続化給付金を受け取ったが、もう底をつく。他の制度はないか。
- ・ 仕事を探しているがまったくくない、決まらない
- ・ 高齢の親と同居している／自分に持病があるため、医療や介護の仕事は難しい。
- ・ 自宅でできる仕事はないか。
- ・ 家族からの暴力・モラハラ、家族の自殺未遂。
- ・ メンタルの落ち込み。

## ≫ 事例③ 単身女性への「おこめ券」配布

### 国際女性デー特別企画【ヨコ食】ハッピーギフト for 一人暮らしの女性

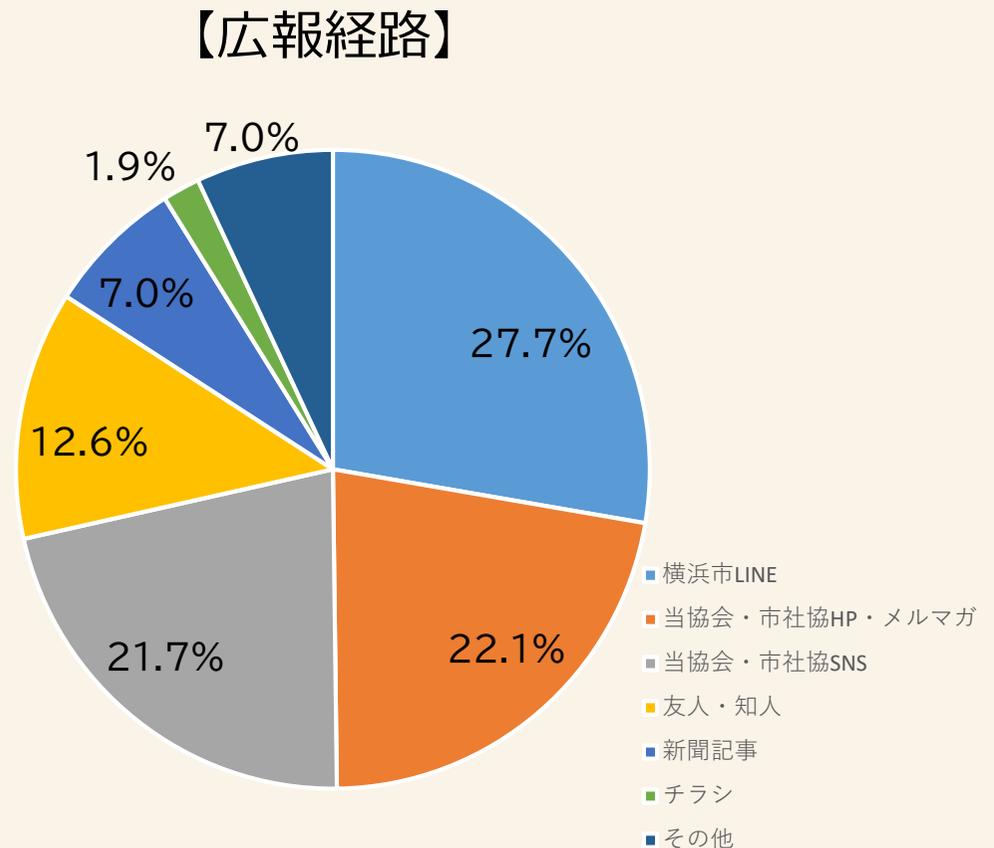
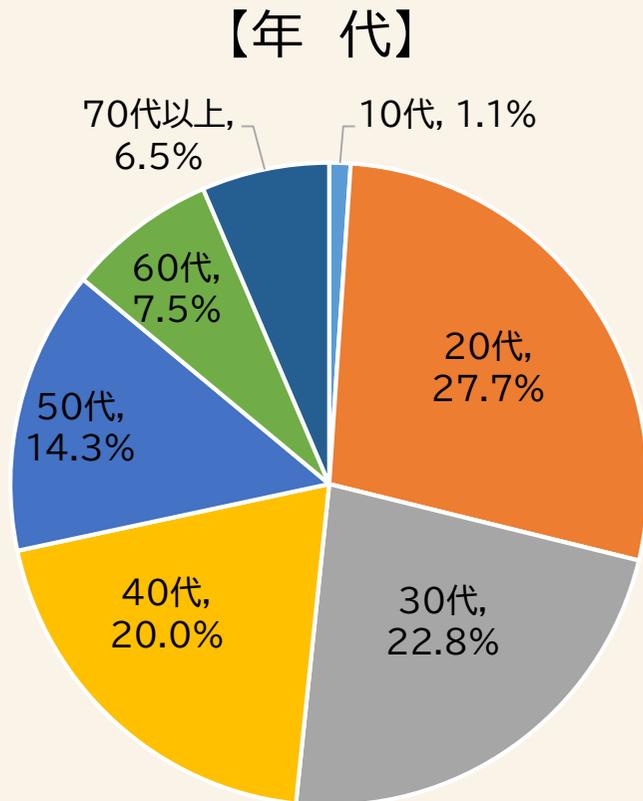
- 対象：コロナの影響を受けて経済的に困窮している、市内在住の一人暮らしの女性1000人
- 申込期間：2021年2月19日～定員に達するまで
- 申込方法：申込フォームに送付先と困っている状況を入力
- お届けした物：おこめ券（5kg分）、『“もしも”のための情報ガイド』など
- 実施主体：(社福)横浜市社会福祉協議会、当協会  
※横浜信用金庫様からの寄付金により実施



## ≫ 事例③ 単身女性への「おこめ券」配布

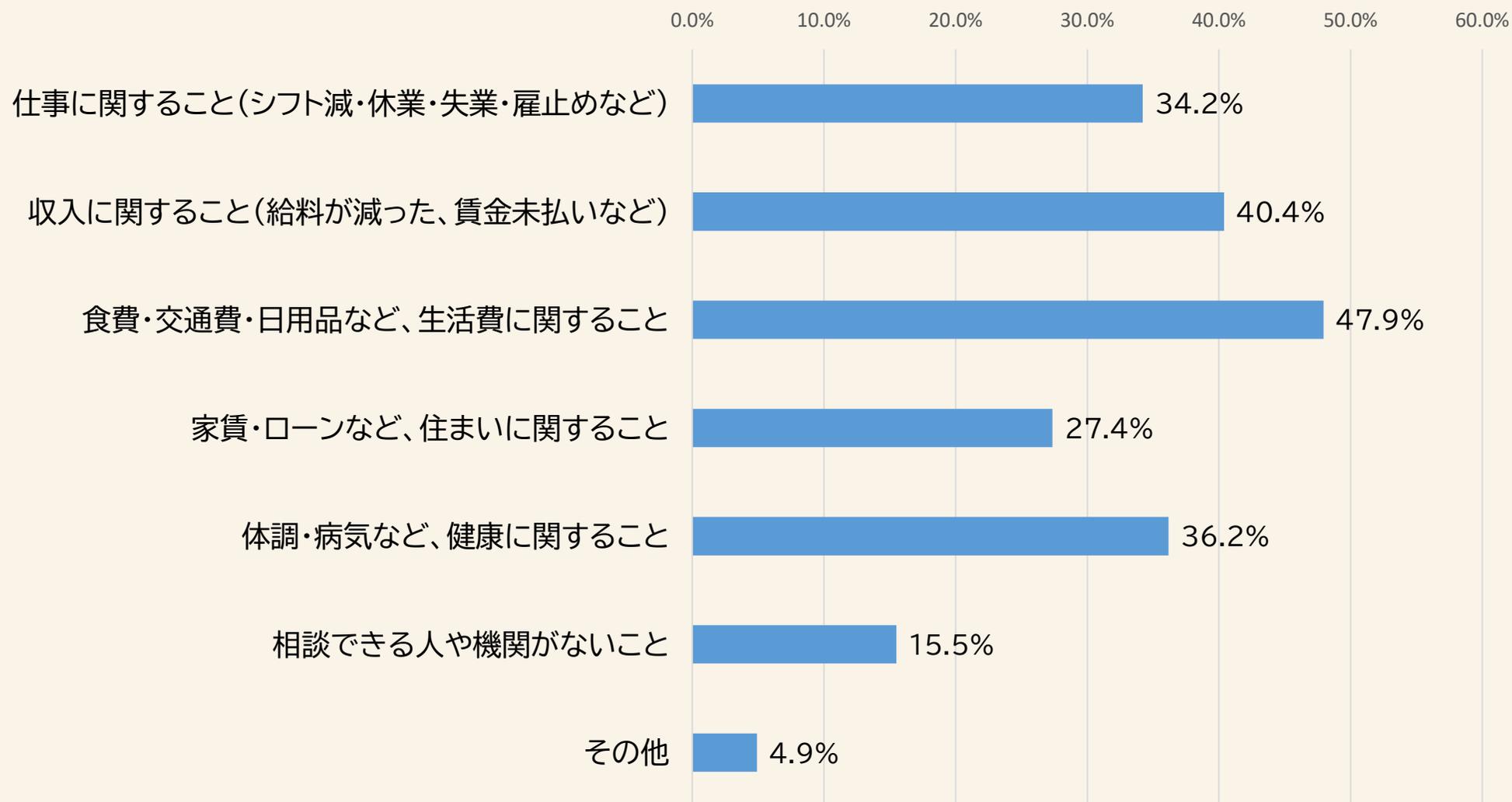
### 申込者の年代・申込経緯

- ・ 20代・30代が半数を占めたが、幅広い年代から申込み。
- ・ 横浜市広報課LINEの効果大。



## ≫ 事例③ 単身女性への「おこめ券」配布

### 現在の困っている状況



## ≫ 事例③ 単身女性への「おこめ券」配布

### 現在の困っている状況（自由記述・まとめ）

■ **収入の減少**：シフト減で収入が減った。勤務先の業績が悪化し／残業禁止になり、給料やボーナスが減った。在宅勤務になったら一切残業代が払われない。休業手当が出ているがこれでは足りない。元々低い給料がさらに減ってカツカツ。

■ **生活費の増加**：衛生用品の支出が増加。自粛生活やテレワークで光熱水費が増加。会社からテレワーク手当もない。

■ **家賃や税金等の負担は変わらず**：収入が減ったのに、市民税や国民健康保険料の額は変わらず。家賃と生活費を払うと自由なお金がほぼゼロ。ローンの返済が困難。奨学金の返済が重い。

■ **食費・医療費等を削っている**：夕飯を食べない日を作って節約している。1日1.5食にした。通院・薬代が高いので、受診をためらう。受診を我慢している。

■ **失業・解雇、仕事が見つからない**：飲食業で失業。派遣・契約社員で、いつ雇止めになるかわからない。この3月で派遣の契約終了。アルバイト・パートを解雇された。次の仕事が決まらない。年齢的に仕事が見つからない。

■ **体調・メンタルの悪化**：病気療養中だが、コロナで治療がストップ。自粛生活が続き、人との交流が減って落ち込む。鬱っぽくなっている。

■ **不安**：一人暮らしでコロナに感染したらどうしたらよいか不安。話し相手や相談できる人がいない。どこに何を相談したらいいかわからない。この先、生きていくのは無理と感じる。

## ≫ 事例③ 単身女性への「おこめ券」配布

### 受け取り報告アンケートに記された感想

- ・「単身の女性は行政の支援からいつも取り残されている気がしていたので、取り組みがうれしい」
- ・「同封されていた、相談先の情報（『“もしも”のための情報ガイド』）が心強く感じた」
- ・「申込みが簡単で、ストレスフリーだった」
- ・「給料日まであと1週間の今日届いた。お米を買うかどうか悩んでいたもので、とてもありがたい」
- ・「応援してもらえたと感じて、気持ちが温かくなった」「頑張ろうと思えた」等

